

神戸市介護保険認定事務センター

運営業務 S L A

令和 7 年 7 月

神戸市福祉局介護保険課

目次

1	S L Aの目的	- 1 -
2	設定値の考え方	- 1 -
3	S L A対象期間	- 1 -
4	業務水準の評価	- 1 -
5	評価項目と未達成の場合に加算する点数	- 2 -
6	評価項目の報告	- 2 -
7	評価項目未達成時の措置	- 3 -
	(1) 改善計画書の作成	- 3 -
	(2) 契約解除の対応	- 3 -
8	契約解除の対応を行うための評価点数について	- 3 -
	(1) 基本的な考え方	- 3 -
	(2) 評価期間と加算対象	- 3 -
	(3) 加算点の取扱い	- 4 -
	(4) 加算点による契約解除等の措置	- 4 -
9	その他	- 4 -
10	添付文書	- 4 -

1 SLAの目的

SLA は、神戸市認定事務センター運營業務の品質を確保するために神戸市（以下「甲」という。）と受注者（以下「乙」という。）が合意するものである。

本書において、業務の内容を規定する指標、遵守すべき指標の設定値、指標の測定方法並びに測定結果の報告等について定める。

神戸市認定事務センター運營業務は、市民サービスに直結するものであり、仕様書記載の業務を行うだけでなく、契約当初から遅滞なく品質の高い業務を履行することが求められる。

しかしながら、履行される業務内容に不備があることを懸念し、明確に契約解除及び委託料の減額を検討する要件を示すことで、常にこれらを意識して業務を実施できるように定めるものである。

2 設定値の考え方

SLAの評価はSLA設定項目ごとに数値化する等具体的な値を設定し、客観性を確保する必要がある。本業務においては、SLAの評価を行うための「評価項目」「評価基準」を定義する。

評価項目	乙が業務を実施するうえで評価基準に定める値を下回った場合、市民サービスの低下に繋がり、業務の適正度が著しく低下すると考える項目。
評価基準	経常業務において乙が保証すべき内容であり、この値を下回ると是正措置が必要となる。

3 SLA対象期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日までとする。

（契約締結日から令和8年3月の準備期間はSLA対象期間に含めない。）

4 業務水準の評価

定めた水準を毎月測定して評価し、結果を半年に1回取りまとめる。その結果を基に、総合的に評価する。

5 評価項目と未達成の場合に加算する点数

番号	評価項目	評価基準	測定者		未達成 加算点数
			甲	乙	
1	審査会資料のうち市内施設調査員による調査票について、区事務局や審査会委員からの問い合わせにより修正が発生した件数	10件/月以内 ※1調査票を1件とする	○		2
2	審査会資料のうち一部の市内居宅事業者による調査票について、区事務局や審査会委員からの問い合わせにより修正が発生した件数	10件/月以内 ※1調査票を1件とする	○		2
3	審査会資料のうち第2号被保険者の主治医意見書について、区事務局や審査会委員からの問い合わせにより主治医へ再提出を依頼した件数	1件/月以内	○		1
4	審査会資料のマスキング処理を必要とする業務について、マスキング漏れにより審査会を延期せざるを得なくなった件数	5件/月以内	○		2
5	乙による SLA 評価項目の改ざん、もしくは苦情・事故の隠ぺい	1件でも発生した場合	○		10

6 評価項目の報告

上記の評価項目の表のとおり、甲が測定者となっている項目について毎月乙に結果を伝達し、甲は評価項目全てを取りまとめる。

7 評価項目未達成時の措置

(1) 改善計画書の作成

乙は、月毎の評価項目集計において設定値に満たない項目が発生した場合、改善計画を作成し甲に提出すること。またその計画に基づいて改善を実施すること。

(2) 委託料の減額の対応

乙の責に帰すべき事由により、設定値が達成されず、大幅な履行遅延や処理誤り等により市職員が対応せざるを得ない事態が発生した場合などは、乙は適切に業務を行っていないものとみなす。

この場合、市職員による対応費を委託料から減額する場合がある。

(3) 契約解除の対応

乙の責に帰すべき事由により設定値が達成されず、改善が行われなかった場合、あるいは改善の見込みがない場合には、乙は適切に業務を行っていないものとみなす。

この場合、委託契約約款第 26 条（甲の解除権）(1)の規定に基づき、契約を解除する場合がある。

なお、甲の判断により契約解除や委託料の減額に至らなかった場合においても、業務責任者はこの状況を速やかに是正するための改善策を講じること。

8 契約解除の対応を行うための評価点数について

(1) 基本的な考え方

評価項目集計において設定値に満たない項目が発生した場合、未達成の度合いを点数化し、加算していく。

加算した点数が一定の基準を超えた場合は、品質水準を満たしていないと判断し、甲は契約解除または委託料の減額の検討を行う。

(2) 評価期間と加算対象

評価のタイミングは半期毎とし、各年 9 月末・3 月末の時点（以下、「評価月」という。）で未達成の項目がある場合は、各項目の点数を全て加算する。

評価月以外の月次報告は、直接的に S L A による契約解除または委託料の減額の対応には使用しないが、業務改善を行うための指標として実施する。

なお、改善計画に基づく改善期間においては、その対象とする項目に対して新たな加算はしない。ただし、改善計画どおりに改善できなかった場合は、改善計画期間について遡って加算する。

(3) 加算点の取扱い

評価月における設定値ごとの加算点を集計する。

なお、加算点を課す事態の原因が、予期し得ないものであると乙が判断した場合、当該根拠を示し、加算点の取り扱いについて甲と協議する。

加算は半期毎とし、次回の評価に当該加算点を持ち越さない。

(4) 加算点による契約解除または委託料の減額の措置

下表により、評価期間における契約解除または委託料の減額の措置を行う。

未達成項目の加算点の合計	措置内容
1 点～3 点	甲は乙に強く改善指導を行う
4 点～9 点	甲は契約解除または委託料の減額を検討する
10 点以上	甲は積極的に契約解除または委託料の減額を検討する

9 その他

S L A の運用に疑義が生じた場合は、甲乙協議のうえで決定するものとする。

また、S L A はあらかじめ予想されうる項目に対する評価であり、これらに係わらず、明らかに業務不履行と認められる場合には甲は乙に指導を行ったうえ、改善されない場合には契約解除または委託料の減額を行う場合がある。

10 添付文書

- ・ S L A 評価項目の詳細